

叙述に基づいて的確に読み、 文章の要旨を捉えることのできる児童の育成

一段落の構成を捉え要点をまとめる「まとめるシート」の活用とグループで話し合うことを通して

特別研修員 国語 野村千栄(小学校教諭)

児童の実態

読み方に関わる力の定着に差があり、自力で読むことに弱さがある。
叙述に沿って要旨をまとめる力が十分身に付いていない。

第5学年の実践(例) 単元名「説明のしかたのくふうを見つけ、話し合おう」
教材名「天気を予想する」

視点の
確認

「読むための視点」を用いて説明文を
読み進める

*「読むための視点」
「問い」と「答え」、「指示語」「接続語」「文末表現」等の
説明文を読むために気をつけること

各意味段落の
要点をまとめる

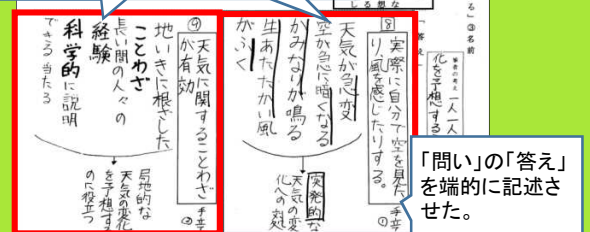
手立て①

各段落の要点をまとめたカードを整理
して貼る「まとめるシート」の活用

問いの答えが示された
形式段落の内容をカードにまとめ、
問いだけを示した「まとめるシート」の台紙に貼り
「まとめるシート」を完成させる。

- ・各段落の役割が分かり、意味段落の要点が明確になった。
- ・三つの意味段落の構成が理解できた。

各形式段落の要点をまとめた2枚のカードを
貼ることで、形式段落の役割を理解できた。



三つの意味段落に対応した
3枚の「まとめるシート①～③」

手立て②

筆者の主張について叙述を基に
グループで話し合う活動の設定

- ①まとめの段落と意味段落ごとに作成した
「まとめるシート」を関連させ、筆者の主張を考える。
- ②「読むための視点」を手掛かりに、筆者の主張した
いことは何か考える。

- ・筆者の論の進め方が理解できた。
- ・筆者の主張について、個々の考えが確かになった。

「ながら」って
書いてあるから
両方大事。

「科学の進歩や
国際的な協力の実現」って
あるから
まとめるシート①だよ。

「空を見、
風を感じることを
大切に」ってあるから
まとめるシート③が
大切だよ。



学級全体で筆者の主張について
話し合う活動

「まとめるシート」を入れ替え、
意味段落の役割を考えたり、
まとめの段落の叙述に着目したりして、
筆者の主張を読み取る。

- 「しかし」から後は、文が変わってるよ。
- 「大切に」って書いてあるから、まとめるシート③だよ。
- そうだね。では、まとめるシート②は必要ないの？
- 必要。まとめるシート②は話題を変えているから。
- 天気予報だけじゃだめだから。

筆者の文章の進め方の工夫だね。では、筆者の
言いたかったことをまとめると？

要旨を
捉える

要旨を書きまとめる活動

全体で要旨のまとめ方を確認し、個人で要旨
(100字程度)をまとめる。

(例) 「天気予報の精度は向上してきたが、天気の変化を予想し、次の行動を判断するのは、そこにいる一人一人だ。天気予報を一つの有効な情報として活用しながら自分でも天気に関する知識を持ち、自分でも空を見、風を感じることを大切にしたい。」

成果

- 「まとめるシート」に整理することで、意味段落における各形式段落の役割を理解できた。また、「まとめるシート」を入れ替え各意味段落の役割を考えたりすることで、筆者の論の進め方の工夫を理解できた。
- 根拠を明らかにして筆者の主張をグループで話し合うことで、自分の考えを確かに行うことができた。その結果、学級全体での話し合いが活発になり、要旨をまとめることにつながった。

課題

- 常に教材文に戻って読むことを意識させるために、「まとめるシート」等のワークシートだけで読みを進めるのではなく、教材文のどの部分に記述があるのかに着目させることが必要である。
- グループで話し合い、その後全体で確認してから要旨をまとめたので、今後は児童が一人で要旨をまとめる経験をさせ続ける必要がある。